



豊永 主議員

緊縮財政改革

団体も努力をしてもらっている

問 補助金等の削減が住民へのサービス低下につながるのではないか。

答 中嶋町長 金銭面でのサービス低下は、補助金を五割ないし一割それぞれの団体に削減を要望していただいたのでサービスの低下につながることは必然的に関係してくると思います。十八年三月に須恵町行財政改革集中プランを示し、鋭意努力しているのが実情です。特に職員定数の削減、昨年七名、今年も七名減の予定です。第二保育所の民営化、各団体への補助金の見直し、また経済的な行財政

の経費を削減するというところに努力しています。収入の面においては、徴収率の向上、行政財産の使用料の値上げ等、収入の増加を計画しています。団体等には非常に厳しい状況であると思います。今その補助金の中でどのように運営していくか新たな計画を立てていただく努力をしていただいております。自立支援法もできているところですし、今までのように「あれもこれも」というものから、「あれこれかこれか」ということではできないのではないかと思っております。

安心・安全のまちづくり

街路灯・防犯灯の管理を明確にする



町が設置・管理している街路灯

問 街路灯・防犯灯のチェック管理体制は。

答 中嶋町長 街路灯については、町で設置し使用料も含め町で管理をしています。防犯灯については、地元からの要望もあり設置については町がやっていますが、使用料あるいは電球切れ等についてはそれぞれの行政区で管理をしていただいている状況です。

街路灯・防犯灯は夜間の問題で町職員が毎日見回すのも難しい問題です。街路灯の電球切れのお知らせをいただいたときは、は即座に対応するようにします。防犯灯は連絡員さんから区長さんを通じて管理をお願いしているわけですが、再度町の方から区長さんに防犯灯の管理をお願いしたい旨の通知をさせていただきますと思っています。



森 勝己議員

問 文部科学省は、親と子どもの豊かな育ちを支援するため、早寝・早起き・朝食をとるなど子どもの望ましい基本的生活習慣を育成し、生活のリズムを向上させる「早寝・早起き・朝ごはん」の国民運動の全国展開を推進していますが、町全体としてどのように取り組んでいるのか。

一、町の進捗状況は。
二、どのような推進方法が望ましいのか。



県が発行しているリーフレット

答 中嶋町長 子どもたちに健康な生活リズムを身につけさせるという目的で、昨年度から八時間の睡眠時間を確保して必ず朝食をとらせて登校して下さいということをPTA・学校にお願いしています。県が発行しているリーフレット「早寝・早起き・朝ごはん」は身体的な影響また精神的な影響・学習面における影響等が示されています。このリーフレットの内

容を「広報すえ」二月号に掲載するようにしています。保護者だけでなく、町民皆さんがこの朝食をとること、睡眠時間を十分にとることが健康管理・健康維持に大変重要な役割を果たすということに意識を持っていただきたいと考えています。食事の場を通して家族団らん・家庭団らん・健康づくり、そういうものに役立つのであれば良いかと願っています。町全体の運動としてこのリーフレットの内容を掲示することにより、町民皆さんの意識・関心を向けていただきたいと思います。

早寝・早起き・朝ごはん 運動の推進

リーフレット内容を掲示